

連続環境セミナー@2017

省エネ法を超えて

主催 JIA東海支部愛知地域会住宅研究会

第1回

宇野勇治（愛知産業大学造形学部建築学科准教授）

■地域のポテンシャルを活かしたパッシブデザイン -気候と素材と伝統-

2017年2月25日（土曜日）14：00開場 14：30-17：00講演

会場：名古屋TOTOセミナールーム

・地域の気候、素材、構法などの文脈をふまえ、これからの環境建築について考えます。

第2回

講師：清野新（ARUP JAPAN）

■環境シミュレーションから生まれる空間のリアリティ（仮題）

講師：末光弘和（㈱SUEP代表取締役）

■環境性能の新しい表現と展開（仮題）

2017年3月18日（土曜日）12：30開場 13：00清野新氏講演 15：00末光弘和氏講演 17：00終了 17：30懇親会（費用別途）

会場：名古屋TOTOセミナールーム

・環境に関する物理的な現象とデザインコンセプトを往来するための発想法や表現方法についてのレクチャーです。

第3回

講師：野沢正光（(有)野沢正光建築工房代表取締役）

■愛農学園の見学（設計：野沢正光建築工房）

■性能と居心地：野沢メソッドを語る

■受講生によるプレゼンとディスカッション

2017年4月8日13：00開場 13：30-講演・見学

会場：（三重県伊賀市）

・環境建築の設計事例の紹介とともに、これまでの講義をふまえた受講生の発表などディスカッションを通して、これからの建築についてともに考える機会です。

第4回

講師：辻充孝（岐阜県立森林文化アカデミー准教授）

■環境データを活用した設計手法と居住後評価（仮題）

■省エネ基準における計算手法のイロハ（仮題）

2017年5月20日（土曜日）13：00開場 13：30-講演 16：00終了予定

会場：岐阜市民会館 練習スタジオ（坂倉準三 設計）

・省エネ基準の検討に求められる断熱などの計算手法を習得します。

第5回

共催：一般財団法人建築環境・省エネルギー機構

講師：澤地孝男（国土交通省国土技術政策総合研究所 建築研究部長）

大倉靖彦（株式会社アルセッド建築研究所 代表取締役副所長）

■『自立循環型住宅への設計ガイドライン 入門編+実例紹介と省エネ設計のポイント』

（テキスト使用による）

2017年6月17日（土曜日）12：30開場 13：00-講演 18：00終了予定

会場：名古屋市 トーヨーキッチン名古屋ショールーム7F セミナールーム

・日射のコントロールや、蓄熱、通風などパッシブ手法の検討方法と、高性能機器の選択法などについてお話しいたします。

<参加費(連続セミナー通し)>

JIA住研会員 10,000円（住研会員の関係スタッフ1名まで無料 2名目から10,000円）

一般 20,000円

※ 関係スタッフとは、協働するポスト若手（自称可）メンバーとし、必ずしも同一事務所ではなくてもよいものとします。ふたり目は正規料金となります。

連続環境セミナー@2017 省エネ法を超えて

建築物省エネ法が整備され、一定水準の環境性能が標準となりつつあります。これを超えて、どのように地域らしい、自分らしい、新たな建築を創造するかが、これからの建築家に求められています。一線で活躍する研究者、建築家に講演いただくとともに、ワークショップやプレゼンテーションを通して、実践力と発想力を身につける連続セミナーを企画しました。

講師紹介



第1回 宇野勇治（愛知産業大学造形学部建築学科准教授）

宇野総合計画事務所代表。公益社団法人日本左官会議総務理事。名古屋工業大学大学院博士後期課程修了。地域の「土」と「風」を活かした居心地のいい建築をつくることをめざして設計と研究を行い、教育者としてもユニークな指導を展開。数値に現れづらい人の感性を大切にしつつ、現代のシステムとの接点を探る。



第2回 末光弘和（株式会社SUEP代表取締役）

東京大学建築学科卒業、同大学院修了。伊東豊雄建築設計事務所を経て2007年～SUEP。2009～11年横浜国立大学大学院Y-GSA設計助手。2011年～SUEP代表取締役。現在、横浜国立大学・東京理科大学・日本大学非常勤講師。2009年東京建築士会住宅建築賞（kokage）。2011年第27回吉岡賞（地中の棲処）。2015年JIA環境建築賞（木籠のオフィス）他受賞多数。



清野新（ARUP JAPAN）

1989年 東京生まれ 2012年 東京大学建築学科卒業
2014年 東京大学大学院修了
2014年- Arup Japan



第3回 野沢正光（(有)野沢正光建築工房代表取締役）

東京芸術大学美術学部建築科卒業。大高建築設計事務所を経て野沢正光建築工房設立。横浜国立大学理工学部非常勤講師。著書に「環境と共生する建築」「地球と生きる家」「パッシブハウスはゼロエネルギー住宅」など。



第4回 辻充孝（岐阜県立森林文化アカデミー准教授）

Ms建築設計事務所を経て現職。木造建築の設計、温熱環境、エネルギー性能評価の講座を受け持つ。共著に「木の家リフォームを勉強する本」「省エネ・エコ住宅設計究極マニュアル」。2009年第五回木の建築賞大賞、2010年地域住宅計画賞自立循環型住宅部門、2012年地域住宅計画賞作品部門を受賞。2012年～日本建築士会連行会環境部会員。一級建築士。



第5回 澤地孝男（国土交通省国土技術政策総合研究所建築研究部長）

東京都生まれ。若年より「環境」に興味を持ちながら建築の道に入る。残念なことに、建築の環境性能は、グリーンとかエコとか、イメージ中心で語られることが多い世界であるが、誰もわかっていないこと、実務者に届いていない知識がまだまだ多い分野である。科学的裏付けのある環境性能に関する知識の創造と実務者への普及に努めている。



大倉靖彦（株式会社アルセッド建築研究所 代表取締役副所長）

1970年芝浦工業大学工学部建築学科卒業。同年RAS建築研究所を経てアルセッド建築研究所設立参加。現在代表取締役副所長。省エネ住宅設計ガイドライン「自立循環型住宅のガイドライン」の作成や、東日本大震災・紀伊半島大水害等の地域住宅による災害復興の支援、紀伊半島大水害の奈良県十津川村の地域住宅による災害復興の支援等、多岐にわたる活動を行う。

<お申込方法>

参加ご希望の方は下記の空欄にお書き込み及びチェックの上、JIA愛知事務局へFAXまたはメールにてお申し込みください。申し込みの締め切りは2017年2月〇日までとさせていただきます。第4回以降の開催日時、場所については決定次第メールにてご連絡いたします。会場までの交通費は各自ご負担ください。

FAX:052-251-8495 mail:shibu@jia-tokai.org

連続環境セミナー@2017 省エネ法を超えて 申込書

氏名 ()

mail ()

所属 ()JIA住研 ()JIA住研スタッフ ()その他